

フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド (愛称：メイフラワー号)

第29作成期

第168期	(決算日 2016年4月15日)
第169期	(決算日 2016年5月16日)
第170期	(決算日 2016年6月15日)
第171期	(決算日 2016年7月15日)
第172期	(決算日 2016年8月15日)
第173期	(決算日 2016年9月15日)

運用報告書(全体版)

■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。		
商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	主としてフランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国ジニーメイ・パス・スルー証券(政府抵当金庫パス・スルー証券)等の米国高格付け証券に実質的な投資を行い、信託財産の着実な成長と安定的な収益確保を図ることを目指してファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。	
主要投資対象	フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド	フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 主として「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド(米国籍投資法人)」、「フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズ・フランクリン U.S.ガバメント・ファンド(ルクセンブルク籍投資法人)」および「フランクリン・テンプルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド(バミューダ籍投資法人)」等への投資を通じて、米国ジニーメイ・パス・スルー証券等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。
	フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
組入制限	フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	毎月15日(ただし、15日が休業日のときは翌営業日とします。)に決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が配当等収益を中心に基準価額水準等を勘案して決定します。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	
分配方針		

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド(愛称：メイフラワー号)」は2016年9月15日に第173期の決算を行いました。ここに、第168期から第173期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



FRANKLIN TEMPLETON
INVESTMENTS

フランクリン・テンプルトン・インベストメンツ株式会社

東京都港区六本木1丁目9番10号

〈お問い合わせ先〉

お客様ダイヤル

電話番号：03-6230-5699

受付時間：9:00～17:00

(土・日・祝日および12月31日・1月2日・1月3日を除きます。)

<http://www.franklintempleton.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するお問い合わせは、お申込みされた販売会社までお願い申し上げます。



●最近5作成期の運用実績

決 算 期		基 準 価 額 (分 配 落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		円	円	%	%	百万円
第25 作成期	144期 (2014年 4月15日)	7,175	13	0.4	98.6	43,755
	145期 (2014年 5月15日)	7,200	13	0.5	99.2	43,359
	146期 (2014年 6月16日)	7,194	13	0.1	99.2	42,492
	147期 (2014年 7月15日)	7,165	13	△0.2	98.7	41,693
	148期 (2014年 8月15日)	7,230	13	1.1	99.1	41,416
	149期 (2014年 9月16日)	7,533	13	4.4	98.8	41,978
第26 作成期	150期 (2014年10月15日)	7,587	13	0.9	98.8	41,070
	151期 (2014年11月17日)	8,229	14	8.6	98.9	42,964
	152期 (2014年12月15日)	8,384	14	2.1	99.0	42,302
	153期 (2015年 1月15日)	8,311	14	△0.7	98.9	41,220
	154期 (2015年 2月16日)	8,390	14	1.1	98.6	40,894
	155期 (2015年 3月16日)	8,570	14	2.3	98.9	40,737
第27 作成期	156期 (2015年 4月15日)	8,496	14	△0.7	99.2	39,625
	157期 (2015年 5月15日)	8,435	14	△0.6	99.1	38,638
	158期 (2015年 6月15日)	8,663	14	2.9	99.1	38,562
	159期 (2015年 7月15日)	8,639	14	△0.1	99.1	37,780
	160期 (2015年 8月17日)	8,687	14	0.7	98.9	37,277
	161期 (2015年 9月15日)	8,438	14	△2.7	98.9	36,039
第28 作成期	162期 (2015年10月15日)	8,340	14	△1.0	98.9	35,347
	163期 (2015年11月16日)	8,540	14	2.6	99.2	35,799
	164期 (2015年12月15日)	8,439	14	△1.0	98.7	34,766
	165期 (2016年 1月15日)	8,234	14	△2.3	99.0	33,531
	166期 (2016年 2月15日)	7,924	14	△3.6	98.8	32,062
	167期 (2016年 3月15日)	7,948	14	0.5	98.8	31,983
第29 作成期	168期 (2016年 4月15日)	7,672	13	△3.3	98.9	30,579
	169期 (2016年 5月16日)	7,621	13	△0.5	98.7	30,167
	170期 (2016年 6月15日)	7,423	13	△2.4	98.9	29,192
	171期 (2016年 7月15日)	7,399	13	△0.1	98.8	28,876
	172期 (2016年 8月15日)	7,095	12	△3.9	98.7	27,542
	173期 (2016年 9月15日)	7,171	12	1.2	98.9	27,787

(注) 基準価額 (1万円当たり) の期中騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドは、「フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド」(以下「マザーファンド」) の受益証券を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注) マザーファンドを通じて投資をする投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定しておりません。

●過去6ヵ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基準価額	投資信託証券組入比率	
			騰落率	組入比率
第168期	(期首) 2016年 3月15日	円 7,948	% —	% 98.8
	3月末	7,885	△0.8	98.6
	(期末) 2016年 4月15日	7,685	△3.3	98.9
第169期	(期首) 2016年 4月15日	7,672	—	98.9
	4月末	7,670	△0.0	98.6
	(期末) 2016年 5月16日	7,634	△0.5	98.7
第170期	(期首) 2016年 5月16日	7,621	—	98.7
	5月末	7,752	1.7	98.8
	(期末) 2016年 6月15日	7,436	△2.4	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

決算期	年 月 日	基準価額	投資信託証券組入比率	
			騰落率	組入比率
第171期	(期首) 2016年 6月15日	円 7,423	% —	% 98.9
	6月末	7,225	△2.7	99.0
第172期	(期首) 2016年 7月15日	7,412	△0.1	98.8
	7月末	7,399	—	98.8
第173期	(期首) 2016年 7月15日	7,309	△1.2	98.7
	7月末	7,309	△1.2	98.7
第173期	(期首) 2016年 8月15日	7,107	△3.9	98.7
	8月末	7,095	—	98.7
	(期末) 2016年 8月15日	7,221	1.8	98.6
第173期	(期首) 2016年 8月15日	7,095	—	98.7
	8月末	7,221	1.8	98.6
第173期	(期首) 2016年 8月15日	7,095	—	98.7
	(期末) 2016年 9月15日	7,183	1.2	98.9

●当作成期中の市場環境 (2016年3月16日～2016年9月15日)

(米国金利とジニーメイ・パス・スルー証券市場)

米国10年国債利回りは、当作成期首の1.9%台後半から1.7%近辺まで低下し、当作成期末を迎えました。

当作成期首から2016年4月上旬にかけては、3月15・16日に開催された米連邦公開市場委員会 (FOMC) で従来に比べ慎重な利上げペースが示唆されたことや、イエレン米連邦準備理事会 (FRB) 議長らのハト派的発言などを受け、米国10年国債利回りは低下しました。その後、原油価格の上昇などから利回りは上昇に転じたものの、米雇用統計など主要経済指標の結果がまちまちとなるなか、5月末にかけて1.8%を挟み方向感に欠ける展開となりました。

6月に入り、雇用統計の下振れやFOMCでの利上げが見送られたことなどから利回りは再び低下基調となりました。また、6月23日に行われた英国の欧州連合 (EU) 離脱の是非を問う国民投票の結果が、離脱という予想外の結果となったことなどをを受け、FRBの利上げが先送りされるとの観測が強まったことで、7月上旬に利回りは1.3%台半ばまで低下しました。

7月半ば以降は、英国のEU離脱の世界経済への影響は限定的であるとの見方が広がる一方、米国では雇用統計の結果などから経済の堅調さが確認されました。さらに、イエレンFRB議長や複数の要人が利上げに前向きな姿勢を示したことから利回りは当作成期末にかけ上昇しました。その結果、米国10年国債利回りは、当作成期首を下回る1.7%近辺で当作成期末を迎えました。

当作成期、ジニーメイ・パス・スルー証券市場は上昇しました。代表的な住宅ローン金利のひとつである米国連邦住宅貸付抵当公社の30年ローン金利 (固定) の平均値は、2月末の3.6%半ばから8月末には3.4%台半ばまで低下しました。住宅ローン金利が歴史的な低水準になったことから、住宅ローンの期限前返済による借り換えは増加しました。



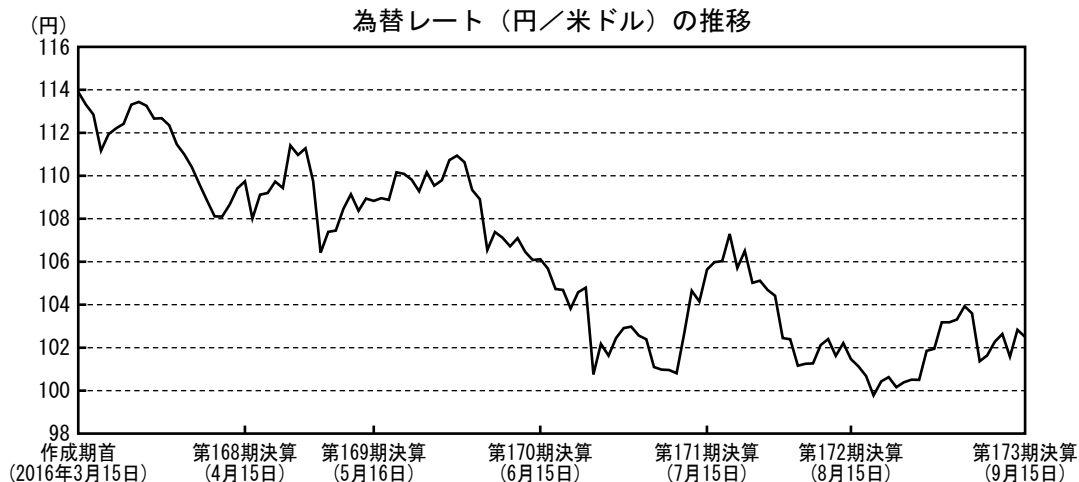
(外国為替市場)

米ドルの対円相場は、当作成期首の1ドル113.90円から11円40銭の円高・ドル安となる1ドル102.50円で当作成期を終えました。

当作成期首から4月末までのドル円相場は、主に米国の利上げ観測が後退し、4月27・28日に開催された日本銀行（日銀）の金融政策決定会合の結果を受けて金融緩和期待が剥落したことから大きく下落しました。しかし、5月に入るとそれまでの急激な円高・ドル安への反動や英国のEU離脱の是非を問う国民投票の事前調査において反対が優勢となったことなどから、ドル円相場は一旦上昇しました。

6月に入り、米雇用統計の下振れなどを背景として米国の利上げ観測が後退、さらには英国国民投票の結果がEU離脱という予想外の結果となったことを受けて、再び円高・ドル安が進行しました。特に英国のEU離脱が決定した後のドル円相場は、取引時間中に一時1ドル99円台前半まで急落するなど非常に値動きの荒い展開となりました。

7月中旬以降は、英国のEU離脱の世界経済に対する影響は限定的であるとの見方や堅調な米国の経済指標、日銀の追加金融緩和観測などを背景に、ドル円相場は106円台前半まで上昇しました。しかし、7月末の日銀の金融緩和策の内容が市場の期待を下回ったことでドル円相場は再び下落基調となり、1ドル100円台まで下落しました。8月後半から当作成期末にかけては、黒田日銀総裁の金融緩和を示唆する発言や米国の利上げ観測などからドルは買い戻されたものの、当作成期首を大きく下回る1ドル102円台半ばで当作成期を終えました。

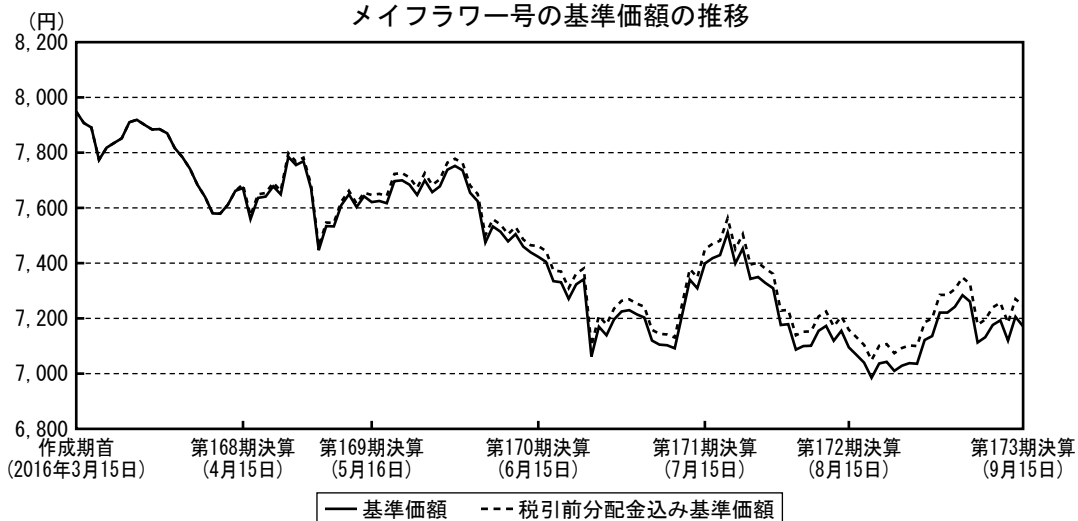


※為替レートは、三菱東京UFJ銀行対顧客電信売買相場の仲値です。

● 当作成期中の運用経過（2016年3月16日～2016年9月15日）

○ 基準価額の推移と主な変動要因

当ファンドの基準価額は、当作成期首の7,948円から777円下落し、当作成期末には7,171円となりました。なお、当作成期中にお支払いした分配金76円（税引前）を含む当作成期末の基準価額は7,247円となり、当作成期首に比べ8.8%下落しました。



(基準価額の変動要因)

当ファンドは、フランクリン・テンプレートン 米国政府証券マザーファンド（以下、「マザーファンド」）にほぼ100%投資しました。このため、基準価額はマザーファンドの値動きを反映したものとなりました。

ジニーメイ・パス・スルー証券が上昇しマザーファンドの投資対象ファンドの分配金込み基準価額（米ドル建て）が値上がりしたものの、米ドルが対円で下落したことが、当ファンドの基準価額の主な下落要因となりました。

○ 運用経過

(フランクリン・テンプレートン 米国政府証券ファンド (愛称：メイフラワー号))

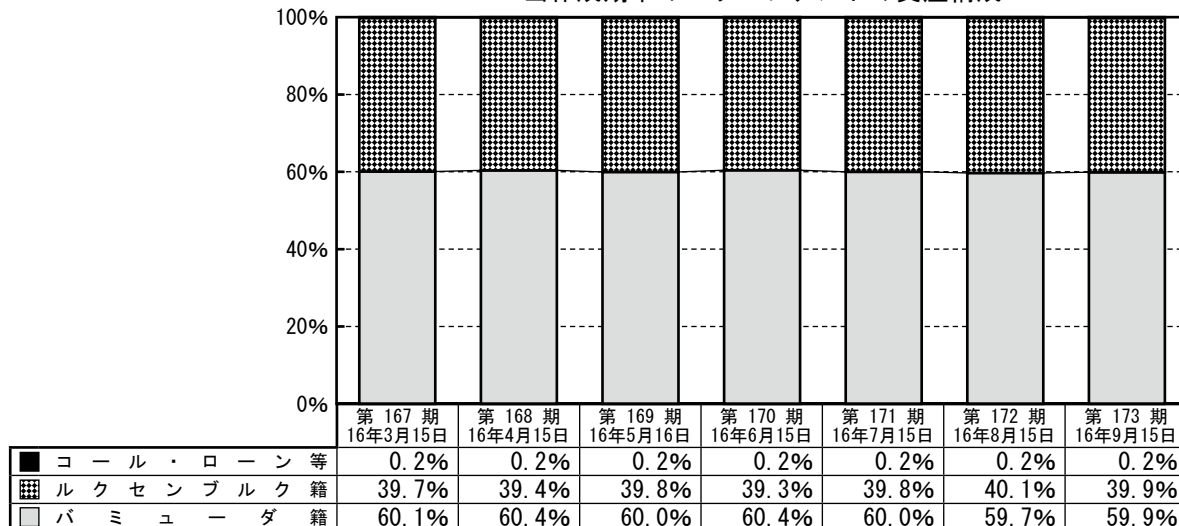
当ファンドでは、当作成期を通じてマザーファンドを高位に組入れ、当作成期末における組入比率は99.8%となりました。マザーファンドにおける当作成期末の組入比率は、「フランクリン・テンプレートン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」が59.9%、「フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズ・フランクリン U.S.ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」が39.9%、「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」が0%となりました。

投資対象ファンドのうち米国籍ファンドへの配分は0%としているのは、米国における外国人投



資家への税制優遇措置の継続が不透明な状況となったことを受け、当該ファンドへの配分を見合わせて他の投資対象ファンドへ配分することが受益者の皆様の利益に資すると判断しているためです。

当作成期中のマザーファンドの資産構成



※ルクセンブルク籍：フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド

バミューダ籍：フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズII・ファンド

※構成比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※比率は四捨五入しておりますので、合計数字が100%にならない場合があります。

*投資対象ファンドのうち米国籍ファンドへの配分は0としています。米国における外国人投資家への税制優遇措置の継続が不透明な状況となったことを受け、マザーファンドに対する影響を勘案し、他の投資対象ファンドへ配分することが受益者の皆様の利益に資すると判断したためです。

(フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

当作成期も、独自の分析手法を用いて、主に証券価格が割安に推移していると判断されるジニーメイ・パス・スルー証券に着目して投資を行いました。

証券化プログラム*の違いによる証券価格形成に着目し、当作成期はジニーメイ I に比べジニーメイ II の組入比率を引き上げました。

また、クーポン別の組入れでは、3.0%から4.0%のクーポン**を持つ証券の比率を引き上げ、4.5%と5.0%のクーポンを持つ証券の比率を引き下げましたが、組入れの中心は3.5%、4.0%および5.0%のクーポンを持つ証券となっています。

*証券化プログラムとは、住宅ローンを条件（金利、ローンの対象となる住宅等、ローンの開始日など）によって分類し、ジニーメイ・パス・スルー証券を組成していく工程のことです。ジニーメイ・パス・スルー証券には、ジニーメイ I とジニーメイ II の2種類の証券化プログラムがあります。

**クーポンとは、証券の額面に対する単年の利息の割合です。

※上記コメントは、マザーファンドにおける投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。

●分配金

当ファンドは、当作成期中の毎決算時に配当等収益を中心に以下の収益分配を行いました。

なお、留保された収益の運用につきましては、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

第 168 期 2016年4月15日	第 169 期 2016年5月16日	第 170 期 2016年6月15日	第 171 期 2016年7月15日	第 172 期 2016年8月15日	第 173 期 2016年9月15日	当作成期間合計
13円	13円	13円	13円	12円	12円	76円

(注) 各期の分配金の金額は1万口当たり、税引前です。

●市場見通しと今後の運用方針

(フランクリン・テンプレトン 米国政府証券ファンド (愛称：メイフラワー号))

当ファンドは、「運用の基本方針」に基づき、引き続きフランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドへの投資を通じて、主に「フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズII・ファンド (バミューダ籍投資法人)」、「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ・フランクリン U.S.ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」に投資を行う方針です。「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」への投資については、米国における外国人投資家への税制優遇の状況を勘案しながら判断してまいります。

(フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

2016年8月末時点において、米国国債利回りが5年債、10年債でそれぞれ1.2%、1.6%程度であったのに対し、ジニーメイ・パス・スルー証券 (新発債) の利回りは2.2%程度と相対的に魅力的な利回り水準にありました。

ジニーメイ・パス・スルー証券を含むエージェンシーMBS (米国政府または政府関連機関が元利金支払を保証している住宅ローン担保証券) 市場の値動きは過去に比べて落ち着くなか、対米国国債のспредは縮小しました。FRBが保有するエージェンシーMBS償還金の再投資を継続したことや市場において過度な供給 (発行) がなかったことなどが、対米国国債のспредの縮小に影響したと考えています。

しかし、FRBによる再投資が終了した場合、FRBに代わる投資家が現れるまで市場は供給 (発行) の影響をより受け易くなると思われます。銀行、不動産投資信託、海外投資家や米国の資産運用会社などがFRBに代わる投資家として考えられますが、現在のFRBの再投資額を埋め合わせるには、それら投資家のポートフォリオにおいてMBSセクターへの資金配分が増加する必要があると思われます。対米国国債のспредが縮小しているなか、FRBの再投資の終了時期が近づくことで、今後MBSのспредの変動はより高まることを予想しています。

足元における住宅ローン金利の低下は、期限前償還のペースを速めると考えていますが、全体として期限前償還の水準は低位で推移するとみています。住宅ローン金利が安定した動きを見せているうえに、住宅ローンの貸出基準が厳格になっているため、期限前償還が急増する状況にはならな



FRANKLIN TEMPLETON
INVESTMENTS

いと考えています。

ジニーメイ・パス・スルー証券は米国政府の一機関であるジニーメイ（米国政府抵当金庫）が元利金の期日通りの支払いを保証する住宅ローン担保证券であり、実質的に米国国債と同等の信用力を有すると考えられています。上記の投資環境の下において、より有利な投資機会の発掘のために同証券を構成する住宅ローンに対する精査をさらに徹底してまいります。期限前償還リスクを適切に評価し、投資対象証券の本来の価値と市場価格との乖離を特定することで、より投資妙味のある証券への投資を行う方針です。

※上記コメントは、マザーファンドにおける投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。

引き続きメイフラワー号をご愛顧くださいますよう、よろしくごお願い申し上げます。

●1万口当たりの費用明細

項目	当作成期 2016年3月16日～2016年9月15日		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	29円	0.381%	(a) 信託報酬＝〔作成期間の平均基準価額〕×信託報酬率、作成期間の平均基準価額は7,510円です。 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、開示資料作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
（投信会社）	(11)	(0.142)	
（販売会社）	(16)	(0.218)	
（受託会社）	(2)	(0.022)	
(b) その他費用 （保管費用） （監査費用）	0 (0) (0)	0.003 (0.000) (0.003)	(b) その他費用＝ $\frac{〔作成期間のその他費用〕}{〔作成期間の平均受益権口数〕}$ その他費用 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	29	0.384	

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。各項目の費用は、マザーファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「マザーファンドの組入上位ファンドの概要」に表示しております。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

●売買及び取引の状況（2016年3月16日から2016年9月15日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第 168 期		第 173 期	
	口 数	金 額	口 数	金 額
フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 1,022,218	千円 1,485,379

(注) 口数・金額の単位未満は切捨てです。

●利害関係人との取引状況等（2016年3月16日から2016年9月15日まで）

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

●投資信託財産と委託会社との間の取引状況（2016年3月16日から2016年9月15日まで）

委託会社が行う第二種金融商品取引業に係る業務において、当期中の投資信託財産との取引はありません。



●組入資産の明細

(1) 親投資信託残高

種 類	第 28 作 成 期 末 (2016年3月15日現在)	第 29 作 成 期 末 (2016年9月15日現在)	
	口 数	口 数	評 価 額
フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド	千口 20,761,765	千口 19,739,547	千円 27,538,642

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 親投資信託の2016年9月15日現在の受益権総口数は、19,739,547,465口です。

(2) フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの組入有価証券明細

下記は、フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド（19,739,547千口）が組み入れている投資対象ファンドの明細です。

外国投資証券

銘 柄	第 28 作 成 期 末 (2016年3月15日現在)	第 29 作 成 期 末 (2016年9月15日現在)		
	口 数	口 数	評 価 額	
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
(ルクセンブルク) フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ フランクリン U.S.ガバメント・ファンド	千口 11,232	千口 10,855	千米ドル 107,141	千円 10,981,993
(バミューダ) フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズII・ファンド	17,003	16,302	160,906	16,492,876
合 計	口 数 ・ 金 額 28,235	27,157	268,047	27,474,870
銘 柄 数 <比 率>	2	2	—	<99.8%>

(注) 外貨建資産の邦貨換算は、当作成期末のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。（1米ドル=102.50円）

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、マザーファンドの純資産総額（27,538,974千円）に対する外国投資証券の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

●投資信託財産の構成

(2016年9月15日現在)

項 目	第 29 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド	千円 27,538,642	% 98.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	348,605	1.3
投 資 信 託 財 産 総 額	27,887,247	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 当作成期末におけるフランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの外貨建純資産（27,538,974千円）の投資信託財産総額（27,547,869千円）に対する比率は100.0%です。

(注) 外貨建資産の評価額は、当作成期末のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。（1米ドル=102.50円）

●資産、負債、元本及び基準価額の状況

	(2016年4月15日)	(2016年5月16日)	(2016年6月15日)	(2016年7月15日)	(2016年8月15日)	(2016年9月15日)現在
項 目	第168期末	第169期末	第170期末	第171期末	第172期末	第173期末
(A) 資 産	30,692,574,633円	30,299,663,353円	29,299,493,430円	28,971,060,553円	27,634,300,364円	27,887,247,760円
コール・ローン等	380,500,642	337,534,932	371,841,162	384,752,816	373,870,204	348,605,092
フランクリン・テンブルトン 米国政府証券マザーファンド(詳細)	30,312,073,991	29,853,213,421	28,927,652,268	28,586,307,737	27,260,430,160	27,538,642,668
未 収 入 金	—	108,915,000	—	—	—	—
(B) 負 債	113,267,132	132,024,845	106,951,429	94,257,615	91,889,071	100,063,145
未払収益分配金	51,816,567	51,458,209	51,122,286	50,734,313	46,581,187	46,498,064
未払解約金	41,272,635	60,978,603	37,010,035	25,825,191	26,994,162	35,683,474
未払信託報酬	20,026,270	19,439,214	18,675,878	17,562,697	18,173,730	17,744,700
未 払 利 息	—	970	1,067	1,106	1,022	1,002
その他未払費用	151,660	147,849	142,163	134,308	138,970	135,905
(C) 純資産総額(A-B)	30,579,307,501	30,167,638,508	29,192,542,001	28,876,802,938	27,542,411,293	27,787,184,615
元 本	39,858,897,694	39,583,238,322	39,324,835,929	39,026,394,724	38,817,656,190	38,748,387,166
次期繰越損益金	△ 9,279,590,193	△ 9,415,599,814	△ 10,132,293,928	△ 10,149,591,786	△ 11,275,244,897	△ 10,961,202,551
(D) 受益権総口数	39,858,897,694口	39,583,238,322口	39,324,835,929口	39,026,394,724口	38,817,656,190口	38,748,387,166口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,672円	7,621円	7,423円	7,399円	7,095円	7,171円

●損益の状況

	第168期 (自2016年3月16日 至2016年4月15日)	第169期 (自2016年4月16日 至2016年5月16日)	第170期 (自2016年5月17日 至2016年6月15日)	第171期 (自2016年6月16日 至2016年7月15日)	第172期 (自2016年7月16日 至2016年8月15日)	第173期 (自2016年8月16日 至2016年9月15日)
項 目	第 168 期	第 169 期	第 170 期	第 171 期	第 172 期	第 173 期
(A) 配 当 等 収 益	94円	△ 28,833円	△ 27,511円	△ 26,762円	△ 29,132円	△ 31,695円
受 取 利 息	94	—	—	—	—	—
支 払 利 息	—	△ 28,833	△ 27,511	△ 26,762	△ 29,132	△ 31,695
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 1,028,121,842	△ 128,730,252	△ 708,074,985	△ 24,392,916	△ 1,112,918,279	358,675,195
売 買 損 益	6,551,004	2,992,879	2,394,396	5,240,291	5,999,904	360,769,418
売 買 損 益	△ 1,034,672,846	△ 131,723,131	△ 710,469,381	△ 29,633,207	△ 1,118,918,183	△ 2,094,223
(C) 信 託 報 酬 等	△ 20,177,930	△ 19,587,063	△ 18,818,041	△ 17,697,005	△ 18,312,700	△ 17,880,605
(D) 当 期 繰 越 損 益 金	△ 1,048,299,678	△ 148,346,148	△ 726,920,537	△ 42,116,683	△ 1,131,260,111	340,762,895
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	111,403,809	△ 980,413,870	△ 1,171,360,179	△ 1,931,559,289	△ 2,008,265,043	△ 3,145,726,764
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 8,290,877,757	△ 8,235,381,587	△ 8,182,890,926	△ 8,125,181,501	△ 8,089,138,556	△ 8,109,740,618
(配当等相当額)	(188,564,752)	(191,795,187)	(193,463,802)	(196,579,377)	(203,109,361)	(233,729,971)
(売買損益相当額)	(△ 8,479,442,509)	(△ 8,427,176,774)	(△ 8,376,354,728)	(△ 8,321,760,878)	(△ 8,292,247,917)	(△ 8,343,470,589)
(G) 計 (D+E+F)	△ 9,227,773,626	△ 9,364,141,605	△ 10,081,171,642	△ 10,098,857,473	△ 11,228,663,710	△ 10,914,704,487
(H) 収 益 分 配 金	△ 51,816,567	△ 51,458,209	△ 51,122,286	△ 50,734,313	△ 46,581,187	△ 46,498,064
次期繰越損益金(G+H)	△ 9,279,590,193	△ 9,415,599,814	△ 10,132,293,928	△ 10,149,591,786	△ 11,275,244,897	△ 10,961,202,551
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 8,290,877,757	△ 8,235,381,587	△ 8,182,890,926	△ 8,125,181,501	△ 8,089,138,556	△ 8,109,740,618
(配当等相当額)	(188,700,984)	(191,842,594)	(193,497,791)	(196,614,685)	(203,218,538)	(233,908,951)
(売買損益相当額)	(△ 8,479,578,741)	(△ 8,427,224,181)	(△ 8,376,388,717)	(△ 8,321,796,186)	(△ 8,292,357,094)	(△ 8,343,649,569)
分 配 準 備 積 立 金	2,977,666,448	2,940,211,874	2,908,513,441	2,872,948,215	2,835,391,085	2,794,608,482
繰 越 損 益 金	△ 3,966,378,884	△ 4,120,430,101	△ 4,857,916,443	△ 4,897,358,500	△ 6,021,497,426	△ 5,646,070,415

(注) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。



<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

- (1) 当ファンドの第168期首元本額は40,239,978,739円、当作成期中(第168期から第173期)における追加設定元本額は795,147,057円、同期中における一部解約元本額は、2,286,738,630円です。
- (2) 貸借対照表上の純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は10,961,202,551円です。
- (3) 1口当たり純資産額は、第168期0.7672円、第169期0.7621円、第170期0.7423円、第171期0.7399円、第172期0.7095円、第173期0.7171円です。

(損益及び剰余金計算書関係)

分配金の計算過程

- (1) 第168期(自2016年3月16日 至2016年4月15日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(42,927,294円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(188,700,984円)及び分配準備積立金(2,986,555,721円)より、分配対象収益は、3,218,183,999円であり、うち51,816,567円(一万口当たり13円)を分配金額としております。

- (2) 第169期(自2016年4月16日 至2016年5月16日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(38,996,101円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(191,842,594円)及び分配準備積立金(2,952,673,982円)より、分配対象収益は、3,183,512,677円であり、うち51,458,209円(一万口当たり13円)を分配金額としております。

- (3) 第170期(自2016年5月17日 至2016年6月15日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(41,491,399円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(193,497,791円)及び分配準備積立金(2,918,144,328円)より、分配対象収益は、3,153,133,518円であり、うち51,122,286円(一万口当たり13円)を分配金額としております。

- (4) 第171期(自2016年6月16日 至2016年7月15日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(41,791,949円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(196,614,685円)及び分配準備積立金(2,881,890,579円)より、分配対象収益は、3,120,297,213円であり、うち50,734,313円(一万口当たり13円)を分配金額としております。

- (5) 第172期(自2016年7月16日 至2016年8月15日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(31,936,624円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(203,218,538円)及び分配準備積立金(2,850,035,648円)より、分配対象収益は、3,085,190,810円であり、うち46,581,187円(一万口当たり12円)を分配金額としております。

- (6) 第173期(自2016年8月16日 至2016年9月15日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(41,650,197円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(233,908,951円)及び分配準備積立金(2,799,456,349円)より、分配対象収益は、3,075,015,497円であり、うち46,498,064円(一万口当たり12円)を分配金額としております。

●分配金のお知らせ（1万口当たり、税引前）

第1作成期 2002年3月26日～ 2002年9月17日	第2作成期 2002年9月18日～ 2003年3月17日	第3作成期 2003年3月18日～ 2003年9月16日	第4作成期 2003年9月17日～ 2004年3月15日	第5作成期 2004年3月16日～ 2004年9月15日	第6作成期 2004年9月16日～ 2005年3月15日	
204円	223円	227円	209円	210円	197円	
第7作成期 2005年3月16日～ 2005年9月15日	第8作成期 2005年9月16日～ 2006年3月15日	第9作成期 2006年3月16日～ 2006年9月15日	第10作成期 2006年9月16日～ 2007年3月15日	第11作成期 2007年3月16日～ 2007年9月18日	第12作成期 2007年9月19日～ 2008年3月17日	
199円	208円	204円	210円	209円	192円	
第13作成期 2008年3月18日～ 2008年9月16日	第14作成期 2008年9月17日～ 2009年3月16日	第15作成期 2009年3月17日～ 2009年9月15日	第16作成期 2009年9月16日～ 2010年3月15日	第17作成期 2010年3月16日～ 2010年9月15日	第18作成期 2010年9月16日～ 2011年3月15日	
183円	154円	141円	134円	126円	112円	
第19作成期 2011年3月16日～ 2011年9月15日	第20作成期 2011年9月16日～ 2012年3月15日	第21作成期 2012年3月16日～ 2012年9月18日	第22作成期 2012年9月19日～ 2013年3月15日	第23作成期 2013年3月16日～ 2013年9月17日	第24作成期 2013年9月18日～ 2014年3月17日	
97円	93円	73円	75円	76円	76円	
第25作成期 2014年3月18日～ 2014年9月16日	第26作成期 2014年9月17日～ 2015年3月16日	第27作成期 2015年3月17日～ 2015年9月15日	第28作成期 2015年9月16日～ 2016年3月15日			
78円	83円	84円	84円			
第29作成期						
第168期 2016年4月15日	第169期 2016年5月16日	第170期 2016年6月15日	第171期 2016年7月15日	第172期 2016年8月15日	第173期 2016年9月15日	設定以来合計
13円	13円	13円	13円	12円	12円	4, 237円



●分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

	第168期 2016年3月16日～ 2016年4月15日	第169期 2016年4月16日～ 2016年5月16日	第170期 2016年5月17日～ 2016年6月15日	第171期 2016年6月16日～ 2016年7月15日	第172期 2016年7月16日～ 2016年8月15日	第173期 2016年8月16日～ 2016年9月15日
当期分配金	13	13	13	13	12	12
(対基準価額比率)	0.169%	0.170%	0.175%	0.175%	0.169%	0.167%
当期の収益	10	9	10	10	8	10
当期の収益以外	2	3	2	2	3	1
翌期繰越分配対象額	794	791	788	786	782	781

(注) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

◇分配金の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」があります。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド

《第14期》

決算日：2016年3月15日

(計算期間：2015年3月17日～2016年3月15日)

《運用報告書》

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

<p>運用方針</p>	<p>この投資信託は、信託財産の着実な成長と安定的な収益の確保を図ることを目指してファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行うことを基本方針とします。 主として米国ジニーメイ・パス・スルー証券（政府抵当金庫パス・スルー証券）等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。</p>
<p>主要投資対象</p>	<p>主として「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド（米国籍投資法人）」、「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人）」および「フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド（バミューダ籍投資法人）」等への投資を通じて、米国ジニーメイ・パス・スルー証券等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。</p>
<p>組入制限</p>	<p>外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p>



●最近5期の運用実績

決算期	基準価額		フランクリン U. S. ガバメント・ セキュリティーズ・ ファンド (米国籍投資法人) 組入比率	フランクリン・ テンプレトン・ インベストメント・ ファンズ -フランクリン U. S. ガバメント・ ファンド (ルクセンブルク籍投資法人) 組入比率	フランクリン・ テンプレトン U. S. ガバメント・ セキュリティーズⅡ・ ファンド (バミューダ籍投資法人) 組入比率	純資産総額
	円	騰落率				
第10期(2012年3月15日)	10,467	8.6	21.6	21.8	56.4	百万円 66,890
第11期(2013年3月15日)	12,177	16.3	21.4	21.2	57.3	57,799
第12期(2014年3月17日)	12,977	6.6	20.3	22.8	56.9	43,682
第13期(2015年3月16日)	16,020	23.4	—	39.9	59.9	40,380
第14期(2016年3月15日)	15,261	△4.7	—	39.7	60.1	31,684

(注) 当ファンドの投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定しておりません。

●当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額		フランクリン U. S. ガバメント・ セキュリティーズ・ ファンド (米国籍投資法人) 組入比率	フランクリン・ テンプレトン・ インベストメント・ ファンズ -フランクリン U. S. ガバメント・ ファンド (ルクセンブルク籍投資法人) 組入比率	フランクリン・ テンプレトン U. S. ガバメント・ セキュリティーズⅡ・ ファンド (バミューダ籍投資法人) 組入比率
	円	騰落率			
(期首) 2015年3月16日	16,020	—	—	39.9	59.9
3月末	15,931	△0.6	—	39.7	60.1
4月末	15,824	△1.2	—	39.8	60.0
5月末	16,428	2.5	—	40.4	59.4
6月末	16,191	1.1	—	39.8	59.9
7月末	16,408	2.4	—	40.2	59.6
8月末	16,035	0.1	—	40.2	59.6
9月末	15,928	△0.6	—	40.5	59.3
10月末	16,048	0.2	—	40.6	59.2
11月末	16,295	1.7	—	39.8	60.0
12月末	15,984	△0.2	—	40.1	59.7
2016年1月末	16,161	0.9	—	39.8	59.9
2月末	15,247	△4.8	—	39.9	59.9
(期末) 2016年3月15日	15,261	△4.7	—	39.7	60.1

(注) 騰落率は期首比です。

●当期中の市場環境（2015年3月17日～2016年3月15日）

（米国金利とジニーメイ・パス・スルー証券市場）

当期の米国10年国債利回りは、期首の2.1%台半ばから当期末には1.9%台後半まで低下（債券価格は上昇）しました。

期首から2015年6月上旬にかけて、米国の製造業関連指標が堅調であったことや雇用環境の一層の改善などを受けて早期利上げ観測が強まり、米国10年国債利回りは期首の2.1%台半ばから2.4%台後半まで上昇しました。その後、10月半ばにかけては、原油価格の下落や中国の人民元の切り下げ、そして世界経済の減速懸念による米国の利上げ見送りなどを背景に、米国10年国債利回りは2.0%を下回る水準まで低下しました。

11月上旬にかけては、米国の新規雇用者数が大幅に増加したことや原油価格が上昇したことから米国10年国債利回りは2.3%台半ばまで上昇しました。2015年末にかけては、米連邦準備理事会（FRB）が実質的なゼロ金利政策を解除し、9年半ぶりに政策金利を引き上げることを決定したものの、世界経済や原油価格に対する不透明感から米国10年国債利回りは2.2%を挟んだ方向感に欠ける展開が続きました。2016年1月以降は中国経済の減速懸念から世界の株式市場が大幅下落するなか、投資家のリスク回避姿勢が強まったことで米国内債が買われ、米国10年国債利回りは2月半ばに一時1.7%を下回りました。

当期末にかけては、原油価格の落ち着きや中国経済に対する不安の後退などから米国10年国債利回りは上昇したものの、期首を下回る1.9%台後半で当期を終えました。

ジニーメイ・パス・スルー証券市場は上昇しました。代表的な住宅ローン金利のひとつである米国連邦住宅貸付抵当公社の30年ローン金利（固定）の平均値は、当期首の3.7%台後半から当期末には3.6%台半ばまで低下しました。住宅ローン金利が歴史的な低水準となったことから住宅ローンの期限前返済による借り換えは増加しました。

（外国為替市場）

米ドルの対円相場は、期首の1ドル121.40円から7.50円の円高・ドル安となる1ドル113.90円で当期末を迎えました。

期首から2015年6月上旬にかけては、米国経済指標が堅調であったことから早期の利上げ観測が強まったことを受け、米ドルの対円相場は1ドル125円台後半まで上昇しました。しかし、8月に中国人民銀行が人民元を切り下げたことを受け、投資家のリスク回避の動きが強まり、安全資産とされる円の需要が強まった結果、米ドルは10月半ばに1ドル118円台前半まで下落しました。その後、年末にかけては、12月半ばにFRBが政策金利の引き上げを決定したものの、世界経済や原油価格に対する不透明感から米ドルの対円相場は1ドル120円から123円台半ばのレンジでの動きに終始しました。

2016年1月以降は、世界経済や原油価格動向などの先行きに対する不安から投資家のリスク回避姿勢が強まったことから円高基調が続きました。当作成期末にかけては、原油価格の上昇や中国経済に対する懸念の後退などから、米ドルの対円相場は反発したものの期首を下回る1ドル113円台後半で当期を終えました。



※為替レートは、三菱東京UFJ銀行対顧客電信売買相場の仲値です。

●当期中の運用経過（2015年3月17日～2016年3月15日）

○基準価額の推移と主な変動要因

基準価額は、期首の16,020円から759円値下がりして期末には15,261円となりました。



(基準価額の変動要因)

ジニーメイ・パス・スルー証券が上昇し投資対象ファンド（米ドル建て）は値上がりしたものの、当期末の米ドルの対円相場が1ドル113.90円と前期末の1ドル121.40円に比べ7.50円（6.2%）の円高・ドル安となったことなどが、基準価額の下落要因となりました。

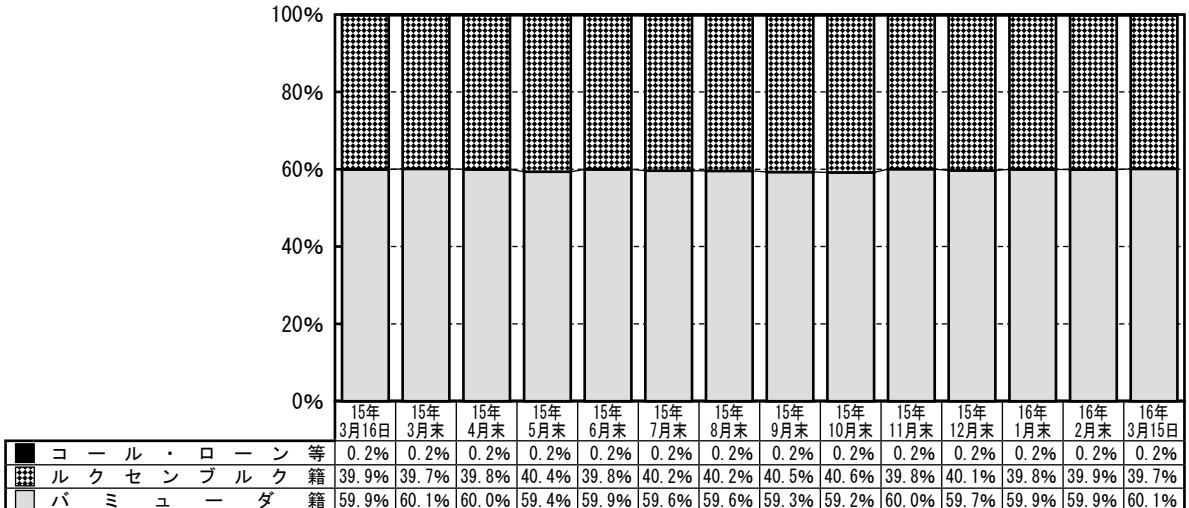
○運用経過

(マザーファンド)

マザーファンドにおける当期末の投資対象ファンドの組入比率は、「フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド（バミューダ籍投資法人）」が60.1%、「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人）」が39.7%、「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド（米国籍投資法人）」が0%となりました。

当期中に投資対象ファンドのうち米国籍ファンドへの配分を0%とした理由は、米国における外国人投資家への税制優遇措置の継続が不透明な状況となったことを受け、当該ファンドへの配分を見合わせて他の投資対象ファンドへ配分することが受益者の皆様の利益に資すると判断したためです。

当期中の資産構成



※ルクセンブルク籍：フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド

バミューダ籍：フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド

※構成比率は純資産総額に対する比率です。

※比率は四捨五入しておりますので、合計数字が100%にならない場合があります。

*投資対象ファンドのうち米国籍ファンドへの配分は0としています。米国における外国人投資家への税制優遇措置の継続が不透明な状況となったことを受け、マザーファンドに対する影響を勘案し、他の投資対象ファンドへ配分することが受益者の皆様の利益に資すると判断したためです。



(投資対象ファンド)

当期も、独自の分析手法を用いて証券価格が割安に推移していると判断されるジニーメイ・パス・スルー証券に着目して投資を行いました。

証券化プログラム*の違による証券価格形成に着目した投資では、当期はジニーメイⅡの組入比率がジニーメイⅠの組入比率を上回りました。

また、クーポン別の組入れでは、3.5%と4.0%のクーポン**を持つ証券の比率を引き上げ、4.5%のクーポンを持つ証券の比率を引き下げましたが、組入れの中心は3.5%－5.0%のクーポンを持つ証券となっています。

*証券化プログラムとは、住宅ローンを条件（金利、ローンの対象となる住宅等、ローンの開始日など）によって分類し、ジニーメイ・パス・スルー証券を組成していく工程のことです。ジニーメイ・パス・スルー証券には、ジニーメイⅠとジニーメイⅡの2種類の証券化プログラムがあります。

**クーポンとは、証券の額面に対する単年の利息の割合です。

※上記コメントは、マザーファンドにおける投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。

●市場見通しと今後の運用方針

(マザーファンド)

ファンドは、「運用の基本方針」に基づき、主に「フランクリン・テンプルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド（バミューダ籍投資法人）」、「フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズ・フランクリン U.S.ガバメント・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人）」に投資を行う方針です。「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド（米国籍投資法人）」については米国における外国人投資家への税制優遇の状況を勘案しながら判断してまいります。

また、投資対象ファンド全体の組入比率は高位を維持します。為替ヘッジは行わないことを原則とします。

(投資対象ファンド)

米国国債利回りは歴史的な低水準にありますが、ジニーメイ・パス・スルー証券は引き続き米国国債に比べて高いインカム収入が期待できると考えています。2016年2月末時点において、米国国債利回りが5年債、10年債でそれぞれ1.2%、1.7%であったのに対し、ジニーメイ・パス・スルー証券の利回りは2.5%と相対的に魅力的な利回り水準にありました。

F R Bは、事実上のゼロ金利政策を解除する一方で、政府系金融機関が発行・保証する住宅ローン担保証券などの償還金の再投資を継続する方針を示しました。今後は銀行、不動産投資信託、海外投資家や米国の資産運用会社などからの住宅ローン担保証券に対する投資意欲が高まるものと考えます。

こうした投資環境の下、ジニーメイ・パス・スルー証券は米国政府が元利金の期日通りの支払いを保証する住宅ローン担保証券であり、実質的に米国国債と同等の信用力を有すると考えられていることや、利回り水準が米国国債に比べ高めであることなどから、引き続き、魅力的な投資対象であると考えています。インカムゲイン（利子等の収益）が今後とも収益の重要な部分を占めると考えており、独自の分析手法により、インカムを中心とした良好な収益機会を有し、割安と判断されるジニーメイ・パス・スルー証券を発掘し、これらへの投資を継続する方針です。

※上記コメントは、投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。

●1万口当たりの費用明細

項目	当期 2015年3月17日～2016年3月15日		項目の概要
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	0円 (0)	0.000% (0.000)	期中の平均基準価額は16,040円です。 $\text{その他費用} = \frac{\text{[期中のその他費用]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}}$ その他費用 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	0	0.000	

- (注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「マザーファンドの組入上位ファンドの概要」に表示しております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

●売買及び取引の状況(2015年3月17日から2016年3月15日まで)

外国投資証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	ルクセンブルク	フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズー フランクリン U.S.ガバメント・ファンド	千口 267	千米ドル 2,632	千口 2,432	千米ドル 24,000
	バミューダ	フランクリン・テンプレトン U.S. ガバメント・セキュリティーズII・ファンド	460	4,549	3,533	35,000

- (注) 金額は受渡し代金です。
- (注) 口数・金額の単位未満は切捨てです。

●利害関係人との取引状況等(2015年3月17日から2016年3月15日まで)

当期中の利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

●投資信託財産と委託会社との間の取引状況(2015年3月17日から2016年3月15日まで)

委託会社が行う第二種金融商品取引業に係る業務において、当期中の投資信託財産との取引はありません。



●ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建外国投資証券の明細

ファンド名	期首 (前期末) (2015年3月16日現在)	当期 (2016年3月15日現在)			
	口数	口数	評価額		比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ルクセンブルク) フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ ファンズ-フランクリン U.S.ガバメント・ファンド	千口 13,397	千口 11,232	千米ドル 110,412	千円 12,576,010	% 39.7
(バミューダ) フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・ セキュリティーズ II ・ファンド	20,076	17,003	167,140	19,037,327	60.1
合計	口数・金額 銘柄数 <比率>	33,474 2	28,235 2	277,553 -	31,613,337 - <99.8%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。(1米ドル=113.90円)

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

●投資信託財産の構成

(2016年3月15日現在)

項目	当期	期末
	評価額	比率
外国投資証券	千円 31,613,337	% 99.7
コール・ローン等、その他	98,318	0.3
投資信託財産総額	31,711,655	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 当期末における外貨建て純資産 (31,684,603千円) の投資信託財産総額 (31,711,655千円) に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。(1米ドル=113.90円)

●資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2016年3月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	31,711,655,283円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	71,266,088
投 資 証 券 (評価額)	31,613,337,194
未 収 配 当 金	27,052,001
(B) 負 債	27,052,002
未 払 金	27,052,002
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	31,684,603,281
元 本	20,761,765,902
次 期 繰 越 損 益 金	10,922,837,379
(D) 受 益 権 総 口 数	20,761,765,902口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,261円

●損益の状況

(自2015年3月17日 至2016年3月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	821,064,139円
受 取 配 当 金	821,064,139
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 2,348,531,035
売 買 益	65,836,653
売 買 損	△ 2,414,367,688
(C) 信 託 報 酬 等	△ 97,954
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 1,527,564,850
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	15,174,537,997
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 2,724,135,768
(G) 計 (D + E + F)	10,922,837,379
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	10,922,837,379

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。

(注) (C)信託報酬等とは、海外保管銀行の費用です。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

- (1) 期首元本額は25,206,456,934円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は4,444,691,032円です。
- (2) 当ファンドの期末元本額 20,761,765,902円
元本の内訳
フランクリン・テンブルトン米国政府証券ファンド 20,761,765,902円
- (3) 期末における1口当たり純資産額は1.5261円です。

●お知らせ

平成26年12月1日より施行された金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に係る信用リスクを適正に管理する方法を定める規定を新設する約款変更および投信振替制度開始以降、信託設定に伴う「新規記録済通知」が発信されるようになった為、不要となった受託者からの追加設定金額明細の交付を廃止する約款変更を行いました。(変更日：2015年6月5日)

フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズー フランクリン U.S.ガバメント・ファンドの運用状況について

2016年6月30日決算

(計算期間：2015年7月1日～2016年6月30日)

フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンドは、フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド（ファンド・オブ・ファンズ形式）が投資対象とする外国投資法人です。

当ファンドの決算は、年1回（毎年6月末）です。したがって、直前の計算期末である2016年6月30日時点までの運用状況をお知らせします。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

設定形態	ルクセンブルク籍投資法人／オープンエンド型／米ドル建て ^{注1}
投資目的	金利収入と元本の安全性の確保を投資目的とします。
主な投資戦略	主として米国政府および米国政府機関が発行あるいは保証する証券に投資を行うことにより、投資目的を達成することを企図しています。 * 資金動向、市況動向によっては、上記のような運用ができない場合があります。
関係法人	運用会社：フランクリン・アドバイザーズ・インク 管理会社：フランクリン・テンプルトン・インターナショナル・サービシーズ・エス・エー・アール・エル 保管銀行：JPモルガン・バンク・ルクセンブルク・エス・エー
費用 ^{注2}	申込手数料：かかりません 運用報酬：年0.40% 管理会社報酬：年0.20%以内 保管銀行報酬：年0.01%～年0.14%

(注1) 当ファンドのマザーファンドは、フランクリン U.S.ガバメントファンドのClass I(Mdis)（米ドル建て）に投資します。

(注2) 当ファンドのマザーファンドが投資を行うClass I(Mdis)のものです。

この他に監査費用、組入れ有価証券の売買委託手数料等取引に要する費用等がかかります。

フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズー
 フランクリン U.S.ガバメント・ファンド
 損益および純資産変動計算書
 2016年6月30日に終了した計算期間

(米ドル)

期首純資産	1, 067, 430, 758
収益	
債券利息（税引後）	34, 889, 545
預金利息	88
その他収益	3, 002
収益合計	34, 892, 635
費用	
運用報酬	7, 137, 071
管理会社報酬	2, 705, 336
保管銀行報酬	29, 583
監査費用	13, 589
その他費用	4, 920, 242
費用合計	14, 805, 821
関係法人からの費用戻入	(154, 594)
純費用合計	14, 651, 227
投資純収益	20, 241, 408
投資有価証券売買に係る実現純利益	1, 367, 439
外国為替先渡契約に係る実現純利益	1, 159, 895
外国為替取引に係る実現純損失	(21, 098)
当期実現利益	22, 747, 644

投資未実現評価益	3,539,220
外国為替先渡契約未実現評価損	(1,816,341)
外国為替取引未実現評価損	(1,816,336)
	<hr/>
運用による純資産の増加額	22,654,187
元本異動等	
追加設定額	1,327,378,190
解約額	(1,186,368,438)
追加設定・一部解約時の収益調整	282,750
	<hr/>
	141,292,502
分配金額	(20,195,749)
	<hr/>
元本異動による純資産の増加額	121,096,753
期末純資産	1,211,181,698
	<hr/> <hr/>

フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド

数量/額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
	その他規制市場で取引される譲渡可能有価証券				
	公社債				
	アセットバック証券				
375,073,077	GNMA II, SF, 3.50%, 08/20/42 - 07/01/46	USA	USD	398,952,833	32.94
257,392,843	GNMA II, SF, 4.00%, 05/20/40 - 05/20/46	USA	USD	276,148,297	22.82
90,491,239	GNMA, SF, 5.00%, 07/15/33 - 08/15/40	USA	USD	102,227,582	8.51
88,258,054	GNMA II, SF, 4.50%, 05/20/33 - 10/20/44	USA	USD	95,777,012	7.91
53,487,954	GNMA, SF, 4.50%, 03/15/39 - 04/15/41	USA	USD	59,461,063	4.95
36,624,855	GNMA II, SF, 5.00%, 10/20/32 - 07/20/44	USA	USD	40,664,532	3.36
34,471,408	GNMA, SF, 6.00%, 10/15/23 - 01/15/38	USA	USD	40,297,131	3.37
33,593,126	GNMA, SF, 5.50%, 11/15/28 - 11/15/39	USA	USD	38,379,881	3.28
19,131,123	GNMA II, SF, 5.50%, 05/20/34 - 01/20/36	USA	USD	21,525,353	1.80
16,771,136	GNMA II, SF, 6.00%, 06/20/34 - 07/20/39	USA	USD	19,401,496	1.62
14,672,679	GNMA, SF, 6.50%, 11/15/23 - 07/15/38	USA	USD	17,148,830	1.33
9,747,934	GNMA II, SF, 3.00%, 01/20/46	USA	USD	10,204,359	0.84
6,379,122	GNMA II, SF, 6.50%, 03/20/27 - 10/20/38	USA	USD	7,573,395	0.64
6,898,250	GNMA, SF, 4.00%, 11/15/40	USA	USD	7,435,705	0.61
5,304,386	GNMA, SF, 7.00%, 03/15/22 - 09/15/32	USA	USD	5,905,247	0.37
4,297,159	GNMA, SF, 3.50%, 04/15/43 - 05/15/43	USA	USD	4,609,172	0.39
3,053,466	GNMA II, SF, 7.00%, 05/20/26 - 03/20/33	USA	USD	3,753,403	0.30
2,329,492	GNMA, SF, 7.50%, 12/15/21 - 08/15/33	USA	USD	2,726,294	0.20
1,704,199	GNMA, SF, 8.00%, 07/15/17 - 12/15/30	USA	USD	1,897,611	0.10
1,439,159	GNMA II, SF, 7.50%, 12/20/17 - 09/20/32	USA	USD	1,757,414	0.14
1,389,581	GNMA II, 6.00%, 03/20/34 - 05/20/34	USA	USD	1,570,489	0.13
691,176	GNMA II, SF, 8.00%, 06/20/22 - 07/20/31	USA	USD	828,540	0.05
456,543	GNMA II, 6.50%, 04/20/34	USA	USD	510,557	0.04
413,558	GNMA, SF, 9.00%, 11/15/17 - 03/15/25	USA	USD	489,844	0.04
202,656	GNMA, 7.50%, 04/15/31	USA	USD	228,610	0.02
163,515	GNMA II, SF, 8.50%, 11/20/21 - 05/20/29	USA	USD	197,945	0.02
173,529	GNMA, SF, 8.50%, 07/15/17 - 06/15/28	USA	USD	188,981	0.01
132,971	GNMA, SF, 10.00%, 07/15/17 - 03/15/25	USA	USD	142,568	0.01
79,335	GNMA, 8.00%, 01/15/31	USA	USD	83,972	0.01
60,487	GNMA, SF, 9.50%, 09/15/17 - 06/15/25	USA	USD	61,382	0.00
46,851	GNMA II, SF, 9.50%, 09/20/17 - 07/20/25	USA	USD	48,967	0.00
32,380	GNMA II, 8.00%, 03/20/27	USA	USD	37,606	0.00

数量／額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
16,510	GNMA, SF, 8.625%, 10/15/18	USA	USD	17,281	0.00
14,247	GNMA, SF, 7.95%, 01/15/21	USA	USD	14,306	0.00
13,562	GNMA, SF, 7.80%, 02/15/20	USA	USD	13,616	0.00
11,054	GNMA I, 9.50%, 10/15/18 - 11/15/21	USA	USD	12,130	0.00
9,261	GNMA, 6.00%, 11/15/28	USA	USD	10,606	0.00
6,455	GNMA, SF, 7.75%, 03/15/27	USA	USD	6,585	0.00
5,006	GNMA, SF, 10.50%, 12/15/17 - 04/15/25	USA	USD	5,268	0.00
102	GNMA, SF, 11.00%, 08/15/17 - 04/15/21	USA	USD	103	0.00
				<u>1,160,315,966</u>	<u>95.81</u>
	1年以内に償還する証券				
82,437	GNMA, SF, 8.50%, 08/15/16 - 06/15/17	USA	USD	82,820	0.00
25,908	GNMA, SF, 8.00%, 12/15/16 - 06/15/17	USA	USD	26,073	0.00
6,079	GNMA, SF, 7.50%, 02/15/17 - 06/15/17	USA	USD	6,107	0.00
3,828	GNMA II, 8.00%, 03/20/17 - 05/20/17	USA	USD	3,839	0.00
713	GNMA, SF, 9.00%, 08/15/16 - 11/15/16	USA	USD	713	0.00
233	GNMA II, SF, 9.00%, 10/20/16	USA	USD	234	0.00
74	GNMA II, SF, 9.50%, 10/20/16 - 12/20/16	USA	USD	75	0.00
45	GNMA, SF, 10.00%, 11/15/16	USA	USD	45	0.00
14	GNMA, SF, 9.50%, 01/15/17	USA	USD	14	0.00
				<u>119,920</u>	<u>0.00</u>
	公社債計			<u>1,160,435,886</u>	<u>95.81</u>
	小計			<u>1,160,435,886</u>	<u>95.81</u>
	合計			<u>1,160,435,886</u>	<u>95.81</u>

フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・ セキュリティーズⅡ・ファンドの運用状況について

2015年9月30日決算

(計算期間：2014年10月1日～2015年9月30日)

フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンドはフランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド（ファンド・オブ・ファンズ形式）が投資対象とする外国投資法人です。

当ファンドの決算は、年1回（毎年9月末）です。したがって、直前の計算期末である2015年9月30日時点までの運用状況をお知らせします。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

設定形態	バミューダ籍投資法人／オープンエンド型／米ドル建て
投資目的	金利収入の確保を投資目的とします。
主な投資戦略	純資産総額の少なくとも80%を米国政府証券に投資を行います。現在、実質的にその資産のすべてを米国ジニーメイ・パス・スルー証券に投資しています。 また、米国政府の十分な信頼性と信用に裏付けられたその他の米国政府の証券（例えば、ストリップス債（treasury strips）、長期国債（treasury bonds）、中期国債（treasury notes）など）にも投資することがあります。短期の運用対象には、短期の政府証券や現金が含まれます。また、米国政府発行の証券を担保として利用するレポ取引（repurchase agreements）を行うことがあります。 * 資金動向、市況動向によっては、上記のような運用ができない場合があります。
関係法人	運用会社：フランクリン・アドバイザーズ・インク 管理事務代行会社：フランクリン・テンプレトン・サービスーズ・エルエルシー 名義書換事務代行会社：テンプレトン・アセット・マネジメント・リミテッド 保管銀行：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン
費用 <small>注</small>	申込手数料：かかりません 運用報酬：年0.40%以内 管理事務代行報酬：年0.10%以内 名義書換事務代行報酬：年0.05%以内

(注) この他に保管銀行報酬、監査費用、組入れ有価証券の売買委託手数料等取引に要する費用等がかかります。

損益計算書
2015年9月30日に終了した計算期間

(米ドル)

投資収益

債券利息	8,630,496
一部償還による損失	(1,210,572)
投資収益合計	<u>7,419,924</u>

費用

運用報酬	794,396
管理事務代行報酬	198,599
名義書換事務代行報酬	96,126
保管銀行報酬	606
その他費用	124,230
費用合計	<u>1,213,957</u>
純投資収益	<u>6,205,967</u>

投資有価証券に係る実現純利益	2,264,141
投資有価証券に係る未実現評価損	(3,208,031)
当期実現及び未実現純利益（損失）	<u>(943,890)</u>
運用の結果による純資産の純増加額	<u>5,262,077</u>

組入資産の明細

2015年9月30日現在

元本額 (米ドル) 評価額 (米ドル)

モーゲージ担保証券 95.4%

ジニーメイ (米国政府抵当金庫) 固定金利証券 95.4%

GNMA I SF 15 Year, 6.50%, 5/15/18	41,613	42,692
GNMA I SF 15 Year, 7.50%, 11/15/15 - 10/15/16	21,502	21,556
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 7/15/39 - 9/15/39	1,421,490	1,546,598
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 11/15/39	861,753	937,215
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 2/15/40	897,090	974,496
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 9/15/40	3,201,046	3,471,983
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 2/15/41	2,878,176	3,127,507
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 4/15/41	1,452,650	1,603,820
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 6/15/41	341,321	370,914
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 4/15/33 - 5/15/33	770,996	860,010
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 5/15/33	1,116,929	1,246,286
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 5/15/33 - 7/15/33	1,544,407	1,723,107
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 7/15/33	664,877	742,333
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 7/15/33 - 8/15/33	1,485,257	1,658,227
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 8/15/33	1,436,139	1,604,861
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 8/15/33 - 9/15/33	1,425,620	1,591,355
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 9/15/33	1,157,489	1,298,002
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 9/15/33 - 10/15/33	1,489,130	1,673,499
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 11/15/33	809,199	904,981
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 11/15/33	872,945	977,255
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 12/15/33 - 4/15/34	1,304,036	1,455,894
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 4/15/34 - 5/15/34	1,473,188	1,653,825
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 1/15/32 - 2/15/33	1,376,444	1,561,490
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 2/15/33	1,471,463	1,683,944
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 2/15/33 - 5/15/33	1,273,149	1,453,041
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 5/15/33 - 6/15/33	1,450,772	1,652,789
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 6/15/33 - 9/15/33	1,423,903	1,618,704
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 10/15/33 - 1/15/34	639,872	722,356
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 2/15/34 - 4/15/34	1,256,472	1,452,135
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 6/15/34	1,355,275	1,548,185
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 2/15/24 - 7/15/32	1,474,828	1,700,431
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 7/15/32 - 2/15/33	1,443,099	1,662,415
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 2/15/33 - 11/15/33	1,050,239	1,218,525
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 12/15/33	1,033,066	1,214,332



FRANKLIN TEMPLETON
INVESTMENTS

	元本額 (米ドル)	評価額 (米ドル)
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 4/15/34	2,884,803	3,405,462
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 10/15/34 - 11/15/34	1,275,251	1,461,570
GNMA I SF 30 Year, 6.50%, 12/15/23 - 8/15/32	1,483,891	1,724,292
GNMA I SF 30 Year, 6.50%, 9/15/32 - 11/15/34	467,690	550,831
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 5/15/22 - 11/15/27	1,505,729	1,697,967
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 12/15/27 - 6/15/29	1,092,758	1,276,556
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 8/15/29 - 2/15/31	451,441	547,200
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 9/15/31 - 10/15/31	984,574	1,201,477
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 4/15/32	2,646,491	3,236,733
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 5/15/32	728,683	883,815
GNMA I SF 30 Year, 7.50%, 2/15/23 - 1/15/32	859,467	945,058
GNMA I SF 30 Year, 7.50%, 2/15/32	2,172,386	2,679,389
GNMA I SF 30 Year, 7.50%, 2/15/32 - 3/15/32	179,833	220,257
GNMA I SF 30 Year, 8.00%, 11/15/16 - 3/15/32	903,228	992,155
GNMA I SF 30 Year, 8.25%, 5/15/20	4,534	4,962
GNMA I SF 30 Year, 8.50%, 2/15/17 - 2/15/32	701,526	766,747
GNMA I SF 30 Year, 9.00%, 4/15/16 - 9/15/30	455,233	518,468
GNMA I SF 30 Year, 9.50%, 4/15/16 - 12/15/21	11,725	12,415
GNMA I SF 30 Year, 10.00%, 7/15/17 - 10/15/21	3,459	3,572
GNMA I SF 30 Year, 11.00%, 9/15/17	878	885
GNMA II SF15 Year, 6.00%, 7/20/17 - 8/20/17	141,062	144,784
GNMA II SF 30 Year, 3.00%, 12/20/42	654,324	671,901
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 4/20/43	1,058,910	1,113,304
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 5/20/43	1,849,405	1,944,262
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 6/20/43	2,837,746	2,983,078
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 9/20/43	4,264,060	4,481,136
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 2/20/44	3,786,827	3,978,060
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 4/20/45	2,241,270	2,353,278
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 6/20/45	8,461,512	8,884,984
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 8/20/45	598,773	628,768
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 1/20/41	1,402,720	1,507,956
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 2/20/41	234,704	252,277
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 7/20/41	1,583,480	1,695,988
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 8/20/41	830,665	892,381
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 9/20/41 - 10/20/41	1,580,008	1,696,382
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 11/20/41	1,858,388	1,994,980
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 12/20/41 - 2/20/42	1,266,788	1,366,189
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 2/20/44 - 12/20/44	1,109,848	1,201,858

フランクリン・テンブルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド

	元本額 (米ドル)	評価額 (米ドル)
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 7/20/45	8,802,524	9,408,407
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 5/20/33 - 5/20/34	1,601,458	1,736,426
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 5/20/34	595,189	645,178
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 7/20/34	1,085,231	1,168,872
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 8/20/34 - 10/20/34	1,539,399	1,669,303
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 5/20/41	1,241,944	1,350,846
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 6/20/41	3,783,574	4,115,345
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 9/20/41	2,586,401	2,813,199
GNMA II SF 30 Year, 5.00%, 9/20/33	8,284,267	9,206,549
GNMA II SF 30 Year, 5.00%, 11/20/33	2,999,762	3,323,954
GNMA II SF 30 Year, 5.00%, 12/20/33 - 3/20/34	1,371,008	1,523,178
GNMA II SF 30 Year, 5.50%, 6/20/34	7,133,037	8,059,719
GNMA II SF 30 Year, 6.00%, 10/20/28 - 11/20/33	753,226	846,432
GNMA II SF 30 Year, 6.00%, 12/20/33 - 3/20/34	1,502,018	1,705,563
GNMA II SF 30 Year, 6.00%, 4/20/34 - 7/20/39	1,512,072	1,660,722
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 10/20/25 - 9/20/31	853,454	1,021,306
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 10/20/31 - 4/20/32	1,174,426	1,393,897
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 8/20/32 - 10/20/32	905,115	1,082,705
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 11/20/32 - 2/20/33	979,418	1,177,829
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 11/20/33	909,440	1,072,849
GNMA II SF 30 Year, 7.00%, 1/20/34	260,669	285,781
GNMA II SF 30 Year, 7.50%, 10/20/23 - 1/20/31	1,420,709	1,733,137
GNMA II SF 30 Year, 7.50%, 2/20/31 - 12/20/32	1,119,771	1,369,084
GNMA II SF 30 Year, 8.00%, 10/20/16 - 7/20/31	485,565	583,116
GNMA II SF 30 Year, 8.50%, 1/20/17 - 11/20/31	323,621	389,635
GNMA II SF 30 Year, 9.00%, 8/20/16 - 1/20/27	295,176	337,014
GNMA II SF 30 Year, 9.50%, 6/20/16 - 12/20/21	13,967	14,685
GNMA II SF 30 Year, 10.00%, 9/20/20 - 9/20/21	2,176	2,301
モーゲージ担保証券計 (Cost \$154,802,294)		166,593,172
短期証券 (Cost \$7,595,000) 4.3%		
買戻し条件付取引 4.3%		
Bank of America Securities LLC, 0.10%, 10/01/15 (Maturity Value \$7,595,021) Collateralized by U.S. Treasury Note, 2.125%, 08/31/20 (valued at \$7,753,760)	7,595,000	7,595,000
合計 (Cost \$162,397,294) 99.7%		174,188,172



FRANKLIN TEMPLETON INVESTMENTS

フランクリン テンプルトン インベストメンツは、創業以来
ベンジャミン・フランクリンの肖像画をロゴマークとしております。

創業者ルーパート・H・ジョンソン Sr.は、

“With money and financial planning, prudence comes first.”

(お金を増やそうとするときに一番大切なのは、用心深さである。)

というベンジャミン・フランクリンのビジネス哲学に深く感銘し、

アメリカ建国の父でもあり、偉大な科学者、

そして優れた投資家でもあった彼の名を社名に冠しました。

ベンジャミン・フランクリンの肖像画を用いたロゴマークは、

ご投資家の皆様にとって、

フランクリン テンプルトン インベストメンツの資産運用サービスに対する

信頼と安心の象徴となっております。